



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

## ～地球“沸騰化”に私たちのできること～ をテーマに 組合員活動交流集会を開催

2月18日（火）、2024年度組合員活動交流集会がオルガホール（岡山市北区）にて開催され、会場参加50名とオンライン参加67名が参加しました。テーマを「地球“沸騰化”に私たちのできること」として、「気候の危機にどう向き合うか」と題した学習講演と2つの生協から環境問題への取り組みの報告がありました。



江守 正多氏

東京大学教授 江守 正多氏による学習講演では、地球温暖化の仕組みからそれが「人間の影響」によってもたらされていることは「疑う余地がない」こと、影響は長期化するので「今」が大切なこと、など科学的見地から、そして、温暖化の原因に責任のない人達ほど深刻な影響を受けることSDGsとシナジーが多いことなど、社会的な見地からも含め、わかりやすい資料も駆使して解説されました。気候変動対策はできるだけ早く、よりスピードを上げて取り組まねばならないが、人類はそのための資金

も知恵も持っている、人類の選択と行動が問われていると提起しました。その上で、私たち一人一人はどうしたらよいか、「我慢する」のではなく、適切なものを選ぶことが大切で、今では分煙が当たり前になったように、一人一人の行動で社会を変えていけるという展望で結びました。質疑応答に時間をとり、時間いっぱいまで多くの意見交換ができました。



会場からは多くの質問が出されました。

取り組み報告では、グリーンコープ生協おかやま理事長 安場 美須寿さんから、発電事業や車両EV化など事業でのCO2削減の取り組み、リサイクルやリユースなど組合員活動での後押しで2027年度カーボンニュートラルをめざしていることを具体的事例で発表されました。



安場 美須寿さん

倉敷医療生活協同組合理事 環境委員会委員長 福田 憲一さんからは、環境委員会の活動として、環境という大きな問題を身近な地域の問題と結びつけてとらえ、「どうせ」から「どうにか」への行動変容を促すため、気候変動の学習や海ごみ拾い、へちまづくりなどの行動提起を行っている事例が発表されました。



福田 憲一さん

★Youtube 見逃し配信は下記 URL,二次元コードから視聴できます。  
(2025年4月末まで)。 <https://youtu.be/yqS548suChA>

